

進路指導部便り

令和6年6月21日
第3号
東京都立七生特別支援学校長
黒澤 一慶

6月末になり梅雨のすっきりとしない天気が続いていますが、気温や湿度が急激に上がり、熱中症が心配される時期でもあります。衣服の調節や水分補給をしっかりと行い、体調面に気を付けて過ごしていきたいと思います。今回の進路指導便りでは、高等部3年生の現場実習の報告と校内実習の様子を掲載しております。御覧ください。

進路を決める実習～高等部3年現場実習の報告～

高等部3年生は、ゴールデンウィーク明けから現場実習が始まりました。3年生は、『進路を決定する』という大きな目標をもって参加しています。

今年度の3年生は、1年次から順調に複数の福祉事業所や複数の職種の企業で実習を積み重ね、自分に合う事業所・仕事は何かを考えてきました。その中で、3年生での実習先を決める際は、空き状況や採用計画の有無など、多くの条件も含め選択する必要があります。生徒本人、保護者の方にとっては、頭を悩まされることも多く、面談期間だけでなく、多くの相談の機会を設けてきました。面談などでは、いつも学校側からお話をさせていただくことがあります。それが次の3つです。

- ①生徒本人は、何がしたいと言っているか（興味のある活動や仕事は何か）
- ②これまでの実習で一番良い表情で通所、通勤していたところはどこか、どういう環境のところか
- ③卒業後の進路先は状況に応じて変えることもできる

また、これまでは生徒や保護者が選ぶ視点でお伝えしてきましたが、3年生の実習では、同時に『選ばれる』という視点が重要となります。「うちの事業所の仕事や活動に合う方か」、「今いるスタッフや利用者とは合う方か」という視点で事業所の方は実習生を見ています。福祉就労においては、保護者の方の支援力（相談しながら一緒に支援していける方か）が見られる場合もあります。詳しくは、保護者会や面談で説明していきますが、個別で御相談されたい方は、進路個別面談等を活用し、進路担当に御相談ください。

校内で働く体験～高等部3年校内実習の様子～

高等部3年生は、5月27日（月）から6月7日（金）まで、地域の福祉事業所から受注作業の提供を受けたり、校内の教員から仕事の依頼を受けたりして、校内実習として働く学習を行いました。実習前の生徒は実習に向けた気持ち作り、実習後の生徒は実習での課題を意識して、過ごすことができました。

今回は、以下の事業所様から作業の提供を受けました。御協力くださいました事業所様に感謝いたします。

- ①七生福祉園：智剣（竹磨き）
- ②ふらっと・すずかけ：石鹸けすり
- ③日野市社会福祉協議会：車椅子清掃、切手切り

進路指導個別面談のお知らせ

7月も、進路指導主任及び進路専任による進路個別相談日を設けています。お子様の進路に関する悩みごとや相談ごとについて、保護者、七生福祉園職員の方が相談できる機会です。どうぞ、お気軽にお申し込みください。時間は1回につき40分程度です。7月の相談日は17日（水）です。相談を希望される方は、下記の申し込み票をご記入の上、7月1日（月）までに担任へ御提出ください。各日、6人までの制限がありますので、申し込み多数の場合は、調整させていただきます。あらかじめ御了承ください。

-----きりとり-----
〈 進路個別相談 申し込み票 〉

7月17日（水）の進路個別相談に申し込みます。

（小・中・高） _____ 年 _____ 組 児童・生徒名 _____

保護者・担当者名 _____

ご希望の相談時間 ①9:30～ ②10:30～ ③11:30～

第1希望 _____ 第2希望 _____ 第3希望 _____

家庭・寮 → 担任 → 進路指導部